



11月

給食だより

日本人の伝統的な食文化 和食に親しもう



Aコース：多摩第一小、東寺方小、永山小、瓜生小
Bコース：連光寺小、北諏訪小、聖ヶ丘小、諏訪小、貝取小

朝夕冷え込む日が多く、体調を崩して風邪などをひく人が増えてくる季節です。風邪予防には規則正しい生活と、外から帰ってきたときや食事の前の手洗い・うがいを忘れないことが大切です。また、11月は秋の実りがでそろう月です。自然の恵みと多くの方の働きに感謝して食べましょう。



「和食」というと何を思い浮かべますか？ご飯・みそ汁・おかずの組み合わせや、すし、そば、うどん、天ぷら、おでんなどの料理を思い浮かべる人もいるかもしれません。また、ラーメンやカレーといった外国から伝わった料理も、アレンジが加えられて日本独自の料理として発展し、外国人観光客にも人気のグルメとなっています。一方で、ライフスタイルの変化によって、地域に伝わる郷土料理や行事食などの伝統的な食文化が失われつつあり、その保護・継承が課題となっています。そのような背景から、2013年に「和食；日本人の伝統的な食文化」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。これは料理としての和食だけでなく、「自然の尊重」という日本人の精神を体现した食に関する「社会的慣習」のことで、以下の4つがその特徴として挙げられています。



「和食」に欠かせないもの



ご飯として食べるほか、団子や餅にしたり、発酵させて調味料にしたりと、形を変えて用いられます。



昆布やかつお節、煮干し、ほししいたけなどの食材から「うま味」を引き出したもので、和食の味の基本です。



微生物の力を活用して、独特な風味やうま味を作り出した発酵調味料の数々も、和食には欠かせません。

日本の食文化を大切にするために、心がけたいこと



「いただきます」「ごちそうさま」を心を込めて言いましょう



お箸を正しく使いましょう



地域に伝わる郷土料理や行事食を味わってみましょう



多摩市公式ホームページでは、給食の写真やレシピなどを紹介しています。ぜひ、ご覧ください。

